



# 町長日誌 祝 No.140

町長日誌の第140号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

6月16日 PM:5:30

今日、6月定例議会が終了しました。この議会は、改選後初めての定例会で、最終日の今日は午前10時から一般質問が行われ、4人の議員さんと産業から医療まで様々な課題について議論をさせて頂きました。久しぶりに4人の質問と言うことで少し疲れましたが、やはり議論は良いものだと思います。議論の中で、自分が今まで気づかなかった事の発見があったり、逆に確信を強くすることもあります。決められた時間の中で自分の考えをまとめて相手に聞くと言うことは大変な事です。私も短いですが議員経験がありますので、町長として出来る限り自分の言葉で議員さんに答える様にしています。

今日の質問の中で、遠軽厚生病院の産科医の削減についての質問がありました。遠軽厚生病院は全ての医師派遣を旭川医大に頼っていますが、この医大の医師不足は深刻で、産科に留まらず整形外科や循環器科等の医師不足は以前からあります。医大側の説明では、現在、医師3名のうち2名を9月一杯で引き上げたいと言うもので、残る医師も1名では分娩は受けられないとのこと。この事を受け、遠軽町長を中心に遠紋の首長で、現在様々な要請などを行い、常勤医2名+派遣医1名の体制で引き続き分娩が出来るよう活動を行っています。

6月5日(金)

町の懸案事業でありますバイオガス事業の入札を行い、施工業者が確定しました。この事業は、町が以前から調査研究を続けていました牛の糞尿を活用してメタンガスを生産し、このガスでガスエンジンを稼働させ、北電に売電するものです。町は昨年国が推奨する「バイオマス産業都市」に管内で初めて認定され計画を進めてきましたが、このほど農林水産省の補助が決まり、北興の興部生コン様の宇津側に建設することになりました。この施設は町営として北興周辺の6戸の農家から乳牛約500頭分の糞尿を受け、加温発酵してメタンガスを生産し、農家には発酵処理され悪臭の少ない「液肥」となった糞尿を戻します。生産されたメタンガスは、6戸の農家で立ち上げた発電会社が買い取り発電を行い北電に販売いたします。本来であれば町が発電まで行えば良いのですが、補助基準により発電を分離することで、施設建設の補助率が増えるためこの手法をとりました。施設整備の補助残額は町の借金ですが交付税で7割が応援されます。また、町にはガス販売代金が収入されます。この事業では、糞尿散布による悪臭の改善はもとより肥料としての有効活用、ガスや発酵熱の活用などを研究することを目的としていますので町営の施設として建設することになりました。なお、この事業は2ヶ年で行い来年秋に稼働する予定です。

お陰様でこの日誌も140号になりました！ 通算11年10ヶ月の月日が経ちました。早いものです。これからも、時折々の話題をお伝えしたいと思います。さて、14日に小学校の運動会が終わり、大型機械や11tダンプカーが町のあちこちで見受けられます。酪農家の牧草サイレージ作業が始まりました。400馬力を超える大型機械のエンジン音は役場にいても聞こえます。6月に入り雨も多いので、収量はあるようですが今年は何か空模様が変ですね？ スカーと晴れたかと思えば急に気温が下がり、濃い霧になったりと1~2時間で天候や気温が変わるようです。津別町では雹が降りビートに壊滅的な被害が出た地域もあるようです。地震、火山の噴火、突風、スコールの様な雨、自然界にとっては長い長~い時間の中のちょっとしたくしゃみの様な変化なのかもしれませんが、文明慣れた人間には極めて異常に思えるこの頃の自然です。どうか皆さんお気を付け下さい。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。